

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 001	提案機関名 農業振興課
要望問題名 オーダー型農業推進のためのマッチング事例研究	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 消費者が求める生産物(「食」)を提供するためには、生産者自らが自分の作っている農産物の魅力に気づき、優れた品質の農産物や加工品をブランド化する仕組みづくりが必要である。 そこで、平成22年度～24年度までに神奈川県内で実施されたマッチング商談事例等の分析により、個々のマッチングをできるだけ多くの生産者や実需者の取組に発展させるために必要な要因解析を行っていただきたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> 1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> 農業技術センター <input type="checkbox"/> 畜産技術所 <input type="checkbox"/> 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	経営情報研究部
対応区分	実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可 <input type="checkbox"/>		
試験研究課題名	(、 、 の場合) 地産地消の流通販売方策の検討		
対応の内容等	農商工連携を進める上での課題として、過去2年間飲食店を対象に調査を行っています。その中では、農産物の種類と出荷期間に関する情報の不足、必要量が仕入れできないなどの課題を抽出しました。農業と商工業者とのマッチングにおいては、農産物の魅力もさることながら供給量の確保と計画性が重要であると考えます。研究課題は本年度が最終年度であり、本年度の研究は可能ですが、次年度以降の課題化は不透明です。今年の推進に当たっては、過去の商談会のデータのご提供と共に、24年度の商談会の開催までのプロセスの調査や、商談会での意見収集内容の検討等、貴機関の協力を得ながら内容を調整し、データ収集を行う必要があります。事業担当の皆様におかれましては、調査に当たっての協力と研究の取りまとめに関する助言をよろしく申し上げます。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> 1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内		
備考			